

4人のアーティストによる ワークショップシリーズ



このワークショップシリーズでは、音楽・演劇・ダンスなどを専門とするアーティストたちと共に、さまざまなコミュニケーションのかたちを肌で体験することができます。毎回、ワークショップ後に講師と一緒に、ワークショップの中でどんなことが起こっていたのか、どんなねらいがあったのか等を聞いたり、感想を言い合うふりかえりの時間が30分あります。自由参加です。

お
申
込



Googleフォーム | 左のQRコードから

メール | step1702step@gmail.com TEL | 053-570-1702 (グループホームすてっぷ)

メールでのお申込は、氏名、電話番号、メールアドレス、他に参加される方の人数、名前、希望講座日 (8/11砂連尾、9/26柏木、11/8川口、12/13片岡) もご記載ください。

参加
無料

ともにいるための「身体」



©草本利枝

ファシリテーター

砂連尾 理 (ダンサー・振付師)

2026年8月11日(火祝)13:30-15:30

@工房めい

(社会福祉法人ひかりの園)

浜松市中央区根洗町319-4

1991年寺田みさことダンスユニットを結成。近年はソロ活動を中心に、舞鶴の高齢者との「とつとつダンス」、宮城・関上(ゆりあげ)の避難所生活者への取材が契機となった「猿とモルターレ」、音楽家・野村誠との「家から生まれたダンス」等を発表。濱口竜介監督映画「不気味なものの肌に触れる」への振り付け・出演等。著書「老人ホームで生まれた(とつとつダンス)ーダンスのような介護のようなー」晶文社、など。

ともにいるための「関係」



ファシリテーター

柏木 陽 (演劇家)

2026年9月26日(土)13:30-15:30

@ループ奏るる

(社会福祉法人みどりの樹)

浜松市浜名区寺島3267-1

演劇家の如月小春と共に活動し、アジア女性演劇会話事務局、兵庫県立子どもの館の野外活動劇ワークショップなどに新たな演劇の可能性を探る現場に関わる。03年特定非営利法人演劇百貨店を設立し、代表理事に就任。現在もワークショップの進行役として、全国各地の劇場、児童館、美術館、学校で子どもたちと独自の演劇空間を創り出している。和光大学、桐朋学園芸術短期大学などで非常勤講師を務める。

ともにいるための「場」



ファシリテーター

川口 淳一 (作業療法士)

2026年11月8日(日)13:30-15:30

@グリーンノート

(NPO法人地域生活応援団あくしす)

浜松市中央区中沢町12-18

学生時代より演劇を用いた学習障害児のコミュニケーション活動やワークショップ、高齢者施設での演劇裏方活動など実施。長崎市内の病院に勤務後、介護老人保健施設ふらの(北海道)へ起任。副施設長として勤務する。2008年より結城病院(茨城県)に起任。現在結城病院リハビリテーション部作業療法科科長。著書「リハビリテーションの不思議～聴こえてくる高齢者のこえ～」(青海社)

ともにいるための「音楽」



ファシリテーター

片岡 祐介 (音楽家)

2026年12月13日(日)13:30-15:30

@あんさんぶる

(社会福祉法人あそしえ)

浜松市中央区天王町1832-1

子供のころから作曲や即興演奏に興味を持ち、木琴やピアノの演奏の演奏を自己流で始め、東京音楽大学で打楽器を学ぶ。映画やコマーシャル音楽での経験を積んだ後、1997年から2000年まで、岐阜県音楽療法研究所にて研究員として勤務し、障害児者との演奏活動の他、音楽療法士のための実践的な講座や、幼児から高齢者までの幅広い人を対象に即興演奏のワークショップも行っている。

